

■ スタンス

リスナーは高校三年生男子。演じていただくのは二歳年下の後輩、音羽美和です。先輩（リスナー）のことが好きで、受験を頑張って同じ高校に入ります。

中学時代からの先輩後輩であり、距離感は近く、好意を隠さない積極性を持っている美和ですが、付き合いが長いいため、どこか冗談っぽくなってしまい本気にしてもらえないのを内心は気にしています。

舞台は入学式。先輩と同じ高校の制服を身にまとった美和が、玄関で待ち伏せしているところから始まります。先輩との登校を楽しみにしていた美和と行く通学路での明るいやり取りが展開していきます。

季節は流れ、卒業式。先輩は、地元を離れ、東京の大学に進学します。学び舎をあとにした彼を校門で待っていたのは美和でした。

今にも泣き出しそうな彼女との、最後の帰り道。

美和は、思いを伝えることができるのでしょうか。

■ 音羽美和（おとばみわ）

年齢…15歳（入学式時）／16歳（卒業式時）

誕生日…2月16日

身長…151 cm（入学式時）／152 cm（卒業式時）

体重…44 kg（入学式時）／46 kg（卒業式時）

スリーサイズ：79-59-82 B(65)（入学式時）

83-59-83 D(65)（卒業式時）

髪型…ショートボブ

性格 明るく澁刺。基本的にいつも元気。先輩とは付き合いが長いため、敬語だが

軽口で、常にからかうような態度で接する。先輩への行為は隠さず積極的だが

前述のノリもあり、お互いふざけているようなニュアンスが抜けない。

すぐに先輩に抱きついたり、挑発するような態度を取るが、本当に尻軽な

わけではなく、根は真面目。成績は悪くもないが良くもない。

（※台本中に記載されている立ち位置は左図を参照してください。）

③

⑥
④ ↓ ①
⑤

↓ こちらがマイクになり、矢印の方向が正面になります。

②

■入学式の登校

【先輩】玄関から出てくる。

【音羽美和】

（位置…⑤）

（体勢…立ち）

（◇扉を開けて締める音）

美和　先輩！　おはようございます！

（位置…台詞後、⑤↓①に移動）

先輩　（え、なに？）

美和　なにつて……とりあえず言うことありますよね！

先輩　（あ、おはよう）

美和　お・は・よ・う・ご・ざ・い・ま・す！　それだけですか！？

先輩　（え……なに？）

美和　私、今日入学式なんですけど！！

先輩　（ああ、そっかそっか。おめでとう。）

美和　ありがとうございます！　からのー？

先輩　（え、何の振り？）

美和　……ホントに気づいてません？　わざと？

先輩　（いや……え？）

美和　せ・い・ふ・く!! 私制服の感想!!
今日はじめて見ましたよね!?

先輩　（ああ、そういうこと?）

美和　納得してないで、何か言ってくださいよ!!

先輩　（いい感じじゃん。）

美和　んゝゝゝ! それだけですか!?
はあ、もういいですそれで。ありがとうございます。

先輩　（てか、なんでいの?）

美和　え?　なんでって、それ聞きます?

先輩　（制服、見せに来た……?）

美和　制服は見せたかったですけど!
それだけじゃないです!

先輩　（他にあるの?）

美和　あります!　メインは!　登校!!
学校、一緒行きましょ!

美和　いいですよね?

先輩　（いいけど、連絡くればよかったのに。）

（位置…③）

美和　連絡しても良かったですけど……。それじゃサプライズにならないでしょ。

先輩　（する必要なくね?）

美和 ある！ 制服の新鮮な反応がほしかったの！ ……期待してたのと違ったけど。

先輩 （なんかごめん。）

美和 悪いなーって思うなら、言ってくださいよ！

先輩 （え、何を？）

（位置…台詞後、③↓①へ移動。）

【先輩】 立ち止まる。）

美和 もう一回！ 制服の感想！

先輩 （…似合ってるよ、すごく。）

美和 ありがとうございます〜！ それ！

それ最初から言っただけだったんですよ！

（位置…台詞後、①↓②へ移動し、先輩の腕に抱きつく想定で。）

（◇腕に抱きつかれた衣擦れの音。）

（オンマイク、小声）

美和 惚れ直しました…？

（オンマイク、終了）

（◇腕を振りほどく衣擦れの音。）

先輩 （最初から惚れてない！）

美和 え〜、もしかして照れてます？

（位置…台詞後、②↓⑥へ移動。）

【先輩】 先に歩いて行ってしまおう。）

美和 わ、待ってくださいよ〜！

（位置…台詞後、⑥↓④へ移動。）

（マイクから顔を離し、近づけながら）

美和 待ってってばー！ もう！

（位置…③。）

先輩 （お前がくだらないこと言うからだよ。）

美和 そうですよ、先輩は今さら私に抱きつかれたりしても
ドキドキしないんですもんね？

先輩 （当たり前だろ。）

美和 えーそんなハッキリ言うー？ ショック！！

先輩 （じゃあちょっとはドキドキするわ。）

美和 じゃあってなんですかー。しかも、ちょっとって。
適当すぎ！ ひどい！

先輩 （お前……朝からテンション高いな……）

美和 先輩、今日なんの日かわかってます？ 入学式ですよ！
人生で一回だけなんですよ？ テンション高くなるでしょ！

先輩 （もう一回受験したらいいじゃん。）

美和 あーもうすぐにそういうウザいこと言うー！
せっかく頑張って入ったのに、他の学校行くわけないでしょ！

先輩 （そーいやお前、なんで進学校来たの？ 高校出たら就職するんだろ？）

美和 どうですかね。急に気が変わって大学行きたくなるかもだし。

先輩 （お前の親、地元から出してくれないだろ。）

美和 まー、たしかに。親とは戦争しないと大学なんて行けないでしょうねー。それでも、この高校が良かったんです！

先輩 （……なんで？）

美和 なんでー？ わかってるくせに。

先輩 （いやわからん）

美和 なんでわかんないのーむしろ！！
先輩と、同じ高校に通いたいって、ずっと言ってたじゃん、私。

先輩 （あ……そっか。そうだったけな……。）

美和 え、急にだまんないてくださいよ！ なんか気まずいじゃないですか！

先輩 （お前がいきなりしんみりするからだろ。）

美和 別に変なことは言ってますし！ ホントのことだし！

先輩 （まあなんにせよ、無事受かってよかったな。）

美和 はい！ これで晴れて、先輩と登校できますから！

（位置…台詞後、③↓①へ移動。）

【先輩】立ち止まる。）

先輩 （え……）

美和 どうしました？

先輩 （もしかして、毎日俺と登校する気？）

美和 あ、気づいちゃいました〜？

（オンマイク、小声、顔を近づけるようなイメージ）

はい、もちろん、毎日お迎えに上がります！

（オンマイク、終了）

先輩 （まじかよ…）

美和 あー！ 思いつきり嫌そうな顔した！ 傷つく！！

先輩 （いや、俺の都合ガン無視じゃん！）

【先輩】歩き始める。）

（位置…④）

（②側へ顔を回り込ませながら）

美和 先輩好きでしょ？

可愛い幼馴染が毎日迎えに来てくれるようなシチュのゲーム！

（台詞後、④↓②へ移動。）

先輩 （嫌いじゃないけど…）

美和 ほら、じゃあいいじゃん！

先輩 （幼馴染じゃない）

美和 幼馴染と後輩の違いくらいは、脳内変換でなんとかしてくださいよ、得意でしょ？

先輩 （今、馬鹿にしてるよな？）

美和 あ、お弁当も作ってあげましょうか！

先輩 （マジで？）

美和 え、意外！ 私のお弁当食べたいんです？

先輩 （いや、購買代浮くなって思って。）

美和 ひどい！！ なに節約に私の愛妻弁当利用しようとしているんですか！？

先輩 （いつから愛妻になったんだよ……！！）

（◇腕に抱きつかれた衣擦れの音。）

（オンマイク、囁き）

美和 あ・な・た……

（オンマイク、終了）

先輩 （おい！）

美和 あはははは！！

先輩 （誰かに見られたらどうすんだよ！）

美和 私は別に困らないですけど？ 先輩困るんです？

先輩 （いじられるだろうが！ 友達に！）

美和 友達？ 彼女ではなく？

先輩 （うっせ、いねーよ！）

美和 あ、いないんですね？

美和 高校デビュー失敗したんです？

先輩 （うるせーよ！！）

美和 あははは！

先輩（腹立つわー……）

美和……そっか、彼女いないんだ……！

先輩（ん？）

美和なんでもないです！

あ、お友達に「俺の嫁だ」って言ってくれていいんですよ？

先輩（いわねーよ）

美和えー、お弁当いららないんですか？

先輩（それはほしい）

美和お弁当だけほしいとか、めっちゃ現金！！
私のお弁当目当てだったんですね！！

先輩（体目当てみたいに言うなよ）

美和え、体目立てだったんですか！？

先輩（うるせーよまな板）

美和まな板じゃないもーん！ Bあるし！！

先輩（ないじゃん）

美和これだから二次元好きはー！！
どうせDカップ以下は人権ないとか思ってるんでしょ……！！

先輩（二次元好き言うな！）

美和いいんですか？ そんな態度で！

先輩（何が）

美和 私、これからFカップになる予定なんですけど。

先輩 （そうになったら態度改めるわ。）

美和 ろこつー！ 露骨な体目当て！！ ひどすぎる！！

先輩 （男なんてそんなもんだろ。）

美和 世の中の男全員道連れにするのやめてもらっていいです？
そうじゃない人もいますよ？

先輩 （どうだろうな。）

美和 ってか先輩、触ったことあるんですか？ ないでしょ？

先輩 （……）

美和 無言は肯定って本に書いてましたよ？

先輩 （お前がしょっちゅう押し付けてくるだろ、ナイチチ）

美和 は！？ ナイチチじゃないし！！

（位置…台詞後、②↓④へ移動。）

（◇背中に抱きつかれた衣擦れの音。）

（オンマイク気味、小声気味）

美和 これでもないって言えますかー！

先輩 （お、おい！）

美和 あるって言え！ 柔らかいって言えー！

先輩 （わかったって！ 柔らかい！ すごい柔らかい！）

（オンマイク気味、終了）

（位置…③。）

（オンマイク、囁き）

美和　先輩のえっち

（オンマイク、終了）

先輩　（はぁ〜!?!）

美和　あはははは！　でもホントに柔らかかったでしょ？

先輩　（……）

美和　無言は肯定ですよ？

先輩　（お前な〜!）

先輩　まあ、触ってみたくなったら相談してくださいよ。
先輩のために熟慮するので。

先輩　（なんだよ熟慮って。）

美和　そう簡単に触らせるわけないでしょ！　私、軽い女じゃないので。
でも先輩の頼みだったら考えるので、熟慮です。

先輩　（こんなに抱きつく女が軽くないって。）

美和　誰にでも抱きつくわけじゃないですよ？　先輩だからですけど。

先輩　（人前では頼むからやめてくれ。）

美和　私、人前で抱きついたことないですよね？　そんな節操なしじゃないです。

先輩　（どの口が……）

美和 あ。

（オンマイク、小声。）

美和 じゃあ、人前じゃなきゃいいんですね？
（オンマイク、終了。）

先輩 （あのなあ……）

美和 あー、まんざらでもなさそうな顔してる！ やっぱりエッチだ！

先輩 （おい！）

（位置…③↓⑤へ移動。）

（顔を近づけ、遠ざけながら。）

美和 先輩のエッチーーーー！！ あはははは！！

先輩 （……）

美和 先輩、怒ってます？

先輩 （……）

（位置…⑤↓①へ移動。）

美和 ごめんなさい。

先輩 （いいよ別に。）

美和 ふふふ……！

（位置…②）

（①側を覗き込み、セリフを言いながら顔を②へ移動。）

美和 せーんばい！

（◇腕に抱きつかれた衣擦れの音。）

（オンマイク気味、小声ぎみ）

美和 このまま登校したら、付き合ってるって思われるかな？

先輩 （あんなぁ……）

美和 入学式からカップルで登校ってヤバくないですか？

怖い先輩に目、つけられちゃうかな。

先輩 （いじめられるかもなー。）

美和 そしたら、先輩守ってくれる？

先輩 （お前の自業自得だよな？）

美和 えー、そこは、俺が守るよ、じゃないのー？

先輩 （知らん。）

美和 でも目をつけられるときは先輩も一緒ですよ？

先輩 （俺はハメられたと主張する。）

美和 ひどい！ 私を売る気ですね！

先輩 （はいはい。あの角曲がったら、校門だからな）

美和 ちえー、ここまでかー。はーい。

（オンマイク気味、終了）

先輩 （まったく……）

美和 確認なんですけど。明日から迎えに行ってもいいんですよね？

先輩 （はぁー……）

美和　めっちゃため息デカイんですけど！

先輩　（いいよ。）

美和　え、ホントに！？

先輩　（ダメって言っても来るだろお前。）

美和　やったー！！　あ、お弁当は？

先輩　（ほしい）

美和　素直でよろしいー！　あ、節約した購買代で私に貢いでくれてもいいんですよ？

先輩　（貢ぐかよ！！）

美和　あははは！！　あー、楽しみだなー高校生活！！

先輩　（とりあえず、あれだ）

【先輩】立ち止まる。

（位置…①）

美和　ん、なんですか？

先輩　（入学おめでとう。これからまたよろしく。）

美和　……！！　はい、ありがとうございます…。こちらこそ、よろしくお願いします！
……あ、私、受付あるんで、先に行きますね！

（位置…台詞後、①↓⑤へ移動。）

美和　入学式、寝ないでくださいねー！

美和 ……あ。

（位置…台詞後、⑤↓①へ移動。）

（顔を遠ざけ、近づけながら）

美和 そうだ、先輩！

（オンマイク、囁き）

美和 今日、一緒に帰りましょうね！

（オンマイク、終了）

美和 ふふふ…！

（位置…台詞後、①↓⑤へ移動。）

（顔を近づけ、遠ざけながら）

美和 じゃあ、また放課後——！！

■卒業式の帰り道

【先輩】校舎を出て歩いてくる、校門で待っている美和を見つけて立ち止まり、近づく。

【音羽美和】

（位置…①）

（体勢…立ち）

（次のセリフを、軽くお辞儀をしながら。）

美和　ご卒業、おめでとうございます。

先輩　（……ありがとう。）

美和　お友達はもう大丈夫なんですか？

先輩　（大体。このあと、夜また会うし。）

美和　そうですか。じゃあ、もう帰れます？

先輩　（うん。）

美和　じゃあ。一緒に帰ってくれます？

先輩　（うん。待っててくれたんだろ？）

美和　はい。待ってました。

先輩　（帰ろっか。）

美和　はい……ありがとうございます。

先輩　（なんでありがとうなんだよ。）

美和　卒業式だし。もしかしたら一緒に帰れないかもって思ってたから。
だから、ありがとうございます、なんです。

【先輩】歩き始める。）

【音羽美和】

（位置…③。）

美和 大学合格、おめでとうございます。

先輩 （前も言ってくれたじゃんそれ。）

美和 めでたいことなんだから、何回言ってもいいじゃないですか。

先輩 （あんまり祝福を感じないんだけど。）

美和 そんなことないですよ。ちゃんと、祝福しますよ？

先輩 （ほんとに？）

美和 してますよ……先輩が、行きたいって思ってた大学なんだから。
私がどうこう、言えるわけじゃないじゃないですか。

先輩 （なあ。）

美和 ……なんですか？

先輩 （第二ボタン、いる？）

美和 ……くれるんですか？
ほしいです。ください。

【先輩】立ち止まる。）

（位置…①）

（◇上着をゴソゴソしているような衣擦れの音。）
先輩 （はい。）

美和 ……ありがとうございます。大事に、します。

先輩 (うん)

美和 先輩から言ってくれるなんて、意外でした。

先輩 (むしろ、真っ先に言われると思ってたけど。)

美和 もちろんほしかったですけど。他にあげる人がいるって言われたら、ショックだなーって思っただけ。それで。

先輩 (らしくないじゃん。)

美和 らしくないですかね。はは。

先輩 (……大丈夫？)

美和 それ、聞きます？ ……大丈夫なわけ、ないじゃないですか。

先輩 (……)

美和 ……行きましょ？

【先輩】歩き始める。

(位置…②)

美和 あーあ。このまま、家に着かなきゃいいのになー。

先輩 (そしたら今日が終わらないのに、ってか？)

美和 そうです。このまま家に着かなかったら。先輩は東京に行かないし。ずっと先輩とこうして話してられるのにな、って。

先輩 (……)

美和　すみません。こんなこと言われても困りますよね。

先輩　（いいよ、別に。）

美和　お家とか、決まったんですか？

先輩　（うん、大体。）

美和　どこですか？　渋谷とか？　池袋？　新宿？

先輩　（ばーか。そういうところは高いんだよ。）

美和　よかった。先輩がパリピにならなくて。

先輩　（なんだそれ。）

美和　だって。ここより楽しいところたくさんあるんですよね？
おしゃれで可愛い女の子もいっぱい。

先輩　（そうとは限らないだろ。）

美和　めっちゃ人がいるんだから。確率が高いと思いますけど？

先輩　（まあ……確かに。）

美和　否定しないんだ！。

先輩　（言ったのはお前だろ。）

美和　はいはい、私が言いましたけど。

……それで、どのへんなんです？　住むの。

先輩　（多摩川のあたり。神奈川になるのかな。）

美和　え、東京の大学なのに、神奈川に住むんですか？

先輩 （全然近いんだよ。東京寄りだから。）

美和 近いんだ。ふーん。よくわかんないですね、東京。

先輩 （なんか、狭いみたいな。）

美和 狭いところにギュッと人と建物が集まって。窮屈じゃないんですかね。わかんないけど。

先輩 （そんな感じはしたけどな。）

美和 ……多摩川って、汚いんですかね、やっぱり。神奈川だから綺麗なのかな。

先輩 （こっちの川よりは汚いんじゃない？）

美和 多摩川で、新歓バーベキュー、とかやるんでしょ、先輩も。

先輩 （いや、大学は近くじゃないから。）

美和 大学が近くなくても。先輩世話焼きだから、家の近くで出来ますよーとか張り切っちゃうんですよ。どうせ。で、都会の男子は火起こしとか出来ないから先輩が全部そういうのやって。女子からキャーキャー言われるんですよ。

先輩 （すげー妄想力だな。）

美和 妄想は得意なんで。

先輩 （調子出てきたじゃん。）

美和 そんなに元気なさそうに見えました？
たまにはしおらしい私もかわいーとか思わないんですか？

先輩 （調子狂うよ。）

美和 ふーん。

（◇腕に抱きつかれた衣擦れの音。）

（オンマイク、小声）

美和 やっぱり、こっちのほうがいいですか？ ふふ！

美和 ……今日は、嫌がらないんですね。

……逆に、切なくなるんですけど。

先輩 （……）

美和 先輩のおうち、遊びに行ってもいいですか。

先輩 （遠いぞー。）

美和 飛行機くらい、一人でも乗れます。

先輩 （飛行機代は？）

美和 ……バイトするもん。

先輩がいなくなるから、もう、時間とか、気にしなくていいし。

先輩 （親は？）

美和 内緒で行きます。

先輩 （俺に口止めさせるわけか。）

美和 口止め料に体でも要求する気ですか？

先輩 （アホ）

美和 アホじゃありません。

先輩って欲ないですよー、童貞のくせに。

先輩 （うっせ）

美和 ……先輩、入学式のときの私の宣言覚えてます？

先輩 （なんだっけ。）

美和 私ね、胸、大きくなったんですよ？ どれくらいだと思います？

先輩 （……しらん。）

美和 Dです。もうちょっとで、人権ですね。

先輩 （……）

美和 ……先輩の腕、温かいな……。
（オンマイク、終了）

【先輩】立ち止まる。）

（位置…①）

先輩 （……もう、いいのか？）

美和 よくないけど。一旦充電したんで。また足りなくなったら抱きつくかも。

先輩 （そっか。）

（下を向いて、鼻をすするように息を吸い込んでください。）

先輩 （美和？）

美和 もう一回、言ってください。

先輩 （……美和。）

美和 もう一回。

先輩（美和。）

美和 ……こんなふうに、先輩に名前を呼んでもらえることもなくなるんですね。

先輩（……）

美和 ほんとに、最後なんだなあ……。

先輩（まだすぐは行かないし、東京。また会えるよ。）

美和 でも。一緒に下校できるのは、今日で最後じゃないですか。

先輩との高校生活は。今日で最後じゃないですか。

先輩（……）

美和 私、高校生じゃない先輩と、どんな顔して会えばいいか、わかんないです。
……なんか、先輩が先輩じゃないみたいで、考えると、怖い……。

先輩（なんにも、変わらないよ。）

美和 変わらないですかね……。ほんとに？

先輩（……）

美和 ほんとに、変わらないのかな……。

先輩（美和。）

美和 ……ごめんなさい、帰んなきゃですよね。

【先輩】歩き始める。）

（位置…⑥）

美和 先輩。あの。

（位置…台詞後、⑥↓④へ移動。）

先輩 （……ん？）

（顔を遠ざけ、近づけながら）

美和 遠回り、してもいいですか。

（位置…台詞後、④↓③へ移動。）

先輩 （いいよ。）

美和 ……ありがとうございます。

先輩 （どこか行きたいところあるの？）

美和 ……一緒にいきたいところなんて、ありませんよ。
でもあそこでもいいです。あの先曲がつて、公園。

先輩 （それでいいのか？）

美和 ……あんまり遠く行くと、帰りたくなっちゃうから。

先輩 （了解。）

美和 あの公園で、花火したの覚えてます？

先輩 （うん。）

美和 先輩、あのときも私の浴衣、褒めてくれなくて。
入学式の時も、制服なかなか褒めてくれなかったし。

先輩 （……可愛かったよ。）

美和 ……今言っても、遅いです。
……遅すぎます。

先輩
（ごめん。）

美和
夏祭り、先輩と行きたかったな。花火も一緒に見たかった。
かわいい水着も買ったのに、見せられなかったし。

先輩
（写真送ってくれたら良かったのに。）

美和
Dカップは以下は興味ないんじゃないんですか？

先輩
（一回も言ってないだろそんなこと。）

美和
……待受にしてくれるなら、送ってあげますよ。

先輩
（この時期に水着が待受ってヤバイやつだろ。）

美和
じゃあ、あげませーん。

先輩
（なんだそれ）

美和
……お盆とか、帰ってくるんですか？

先輩
（帰ってきたいけど。）

美和
……わかんないですよ。遠いし。飛行機高いし。
それにバイトとか始めて、忙しくなって、シフトがーとかいい出すんですよ、きつと。

先輩
（まあ、バイトはしたいけど。）

美和
バイト先の女の子といい感じになって、付き合うんですよ、それで。
だからバイトのほうが大事になって、帰ってこないんです、先輩は。

先輩
（お前、さっきから、そんなんばっかだな。）

美和
……だって。

これから、一日一日、全然知らない先輩が増えて行くんです。

そのうち、私が先輩と過ごした時間なんて、簡単に超えちゃって。

先輩は東京の人になっちゃうんです。忘れるんです、地元のことなんて。……私のことだって。

先輩
(……)

美和
……何も言ってくれないんですね……。

先輩
(暮らしてみないと、わからないよ、それは。)

美和
……そうですね。わからないですよね、何も。

先輩
(……座る?)

美和
……はい、座りましょっか。

(◇ベンチに座った衣擦れの音。)

(位置…②)

先輩
(毎朝ずっと顔合わせてたんだから、そう簡単に忘れないよ。)

美和
ほんとに忘れませんか? ……そうだったらいいな。

先輩
(……)

美和
昨日、親と喧嘩したんです。やっぱり大学行きたいって。

そしたらなんて言ったと思います? そんなお金ないーだって。知ってるしそんなの。

先輩
(……)

美和
それでも、大学行きたいんです。先輩と同じ。

先輩
(俺ばっか追いかけてていいのかよ、お前。)

美和 いいんですよ。だって、他にやりたいこと、ないんだもん。

先輩 （見つかるよ。）

美和 ……追いかけるの、迷惑ですか？

先輩 （……よくわからない。）

美和 迷惑かもしれない、ってことですよね。

先輩 （そうじゃない気もしてる。）

美和 ……ズルいですよ、そういう答え方。

先輩 （でも、本当にやりたいことが見つかるかもしれないだろ。）

美和 ……私の、やりたいことですか？

先輩 （俺のこと、追いかけてる場合じゃなくなるかもしれない。）

美和 ……やりたいことがある人が言うことは、違いますね。

先輩 はやりたいことがあって、そのために選んだ大学に入って、だから、他のことは二の次ですもんね。

先輩 （まあ、夢が、一番大事ではあるかな。）

美和 ……そういうところが、かっこいいんですよ、先輩は。

先輩 （初めて聞いた気がするけど。）

美和 はい。だって初めて言いましたから。

私も、そういうの見つけたいなって思ったけど。よくわからないです、まだ。よくわからないし……。

（少しの間）

美和 ……やっぱ、今のナシで。

先輩 （いいよ、無理に言わなくても。）

美和 ……はい。

先輩、思い残したことないですか？

先輩 （……あんまり、考えてなかったかも。）

美和 先輩らしいですね。前しか見てない感じ。

先輩 （そうかな。）

美和 ……先輩、結局私に相談しませんでしたね。

先輩 （……何の話？）

美和 入学式の話、覚えてません？

先輩 （……違ったら嫌だから言わない。）

美和 多分、それ当たってますよ。

先輩 （言わない。）

美和 ……胸、触ってみたくないですか？

先輩 （……いつもお前に押し付けられてるだろ。）

（次の台詞、立ち上がりながら）

美和 押し付けられるのと、触るのは別だと思えますけど！

（位置…②↓①へ移動。）

（姿勢…立ち）

美和 どうします？

先輩 （いや……あのな……）

美和 今だったら。いいですよ？ 熟慮なし即決で。

先輩 （他に言い方ないのかよ……）

美和 先輩……？

（少しの間）

美和 それっ！

（◇座っている状態で、抱きつかれた衣擦れの音。胸に顔が当たっている状態。）

(位置..②)

(以下、泣いているような演技で。鼻をすするような呼吸などを入れて。)

(オンマイク気味、小声めで。)

美和

ふふ……。どうですかーDカップ。柔らかいでしょ。ふふ。

……結構頑張ったんですよ？ 毎日豆乳飲んで、筋トレもしたし、なんか、いろいろ、エクササイズみたいの、やったり。休みの日に、短期のバイトとかして。なんか、胸が大きくなるブラとか、買ったたりして。あ、可愛いブラも買ったんです。勝負下着ってやつ。今、してるんですよ？

ふふ、想像してもいいんですよ？ すごい、可愛いんです。見たいです？ さすがにここじゃ無理かー残念だなー。ほんと残念ですね。先輩。

1年で2サイズ上がったんだから、あと1年……遅くても

2年待ったら、ほんとに、Fカップに、なるのにな。絶対、なるのに。

先輩、東京、行っちゃうんだもん。残念ですね、私だったら、触らせてあげたのに。先輩、変わらないって、忘れないって言うけど。

私、知ってるんです。みんな、忘れちゃうんです。

新しい生活とか出会いとか、たくさんあるし。忙しくなるし、とにかく、いろいろ。いろいろあるから。先輩は、自分の夢に夢中で、一生懸命で、自分に厳しいから。地元とか、それどころじゃないから。

もう帰ってこないんです、きっと。

それで、そんな先輩が素敵だから、Fカップの可愛い子が寄ってきて、先輩、彼女にしゃうんです。それで童貞卒業するんです。

で、たまに、毎日必死に朝迎えに来る後輩いたなー、弁当作ってくれて、やたらと抱きついてきて、胸小さかったけど、途中でデカくなったけど。

ああ、一回くらい触っとけばよかった、頼んだらやらせてくれたかもなーとか。そんなふうに、友だちに話したりして。なんか、全部。思い出になるんです。

私、知ってるんです……。

(オンマイク気味、終了。)

(一度先輩から体を離し、もう一度抱きつくような動き。首に腕を回す形の普通の抱きつき。口が、先輩の耳元にある想定。)

(◇抱きつかれた衣擦れの音。)

（オンマイク、囁き）

美和　でも、それでも、いいんです。私、私バカだから。ほんのちよっとの希望にしがみついて、勉強するんです。親と思いきり戦争して。絶対説得して。

先輩と同じ大学に受かって、先輩のこと追いかけるんです。

もし彼女が来てて、がっかりしても、もう私のことなんて忘れてても、

バカだなー私ほんとバカだって、そのとき絶望してもいい。

いいんです、だって、だって。

……先輩みたいに、やりたいこと、見つけたかったけど。

私、先輩以上に。先輩以上に。

（少しの間）

美和　好きなもの……見つからないんです……。

（少しの間、静かに泣きの演技）

先輩　（……待ってるよ）

美和　……それ、返事のもりですか……？

先輩　（……）

美和　ほんとに、ズルいんだよなあ……

私の気持ち、気づいてたくせに。いつもはぐらかして。

釣った魚に餌はやらないタイプですよ？　ほんと、ひどい。

ろくでなし。ほんと、ほんとそういうことだぞ、ほんと……。

先輩　（ごめん、根性無しで。）

美和　……ほんとですよ……根性なし……。

先輩　（うん、ごめん。）

美和　……本当に、待っててくれます？

先輩　（うん。）

美和

……その言葉がほんとなら、好き、くらいいいしてほしいですけど。一回も、言ってくれたこと、ない。

先輩

(……美和)

美和

いいです。言わないでください。私がFカップになるまで、待っててあげます。

(オンマイク、終了)

(一度、体を話して、先輩の顔を正面に一言発したあと、再度、抱きつく想定。)

美和

先輩……。

(◇抱きつかれた衣擦れの音。)

(オンマイク、囁き)

美和

大好きです……。